

《協議会様用》※必ずお読み下さい

令和3年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る要望調査

機械装置の要望にあたって（注意事項等）

要望調査の取りまとめにあたっては、必ず本資料をご一読下さい。

目次

- 1 令和2年度要望調査方法（要望様式）からの変更点
（参考）要望書様式の「Step2（導入の必要性・成果目標）」の考え方
- 2 スケジュール
- 3 貸付対象機械装置について
- 4 要望取りまとめにあたっての注意事項
 - （1）機械装置の区分・仕様等で対象となる機械装置について
 - （2）その他の注意事項

※以下の資料もあわせてご参照ください

- ・ 令和3年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）参加要望書様式（サンプルデータ入り）
- ・ 令和3年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧
- ・ 対象機械装置一覧（令和3年3月23日現在：未定稿）
- ・ （参考様式）畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）要望調査用紙（様式、記入例）
- ・ 事業実施要領等

1 令和2年度要望調査方法（要望様式）からの変更点

【主な変更点】

- ・ 事業の区分が「畜産経営等強化支援事業」に一本化されました。
- ・ 要望書の記述欄の廃止
 - ・ 「導入の必要性」が記述式から選択式になりました。
 - ・ 「成果目標として取り組む具体的な内容」欄はなくなりました。
- ・ 今回の要望調査では、飼養区分（畜種）ごとに設定された「導入の必要性」から要望内容に該当するものを選択し、「導入の必要性」ごとに設定された「現状値・目標値」に関する数値を所定の欄に記入頂きます。
- ・ 「導入の必要性」ごとに選択できる「補助対象機械装置区分」が違います
 - 別添資料『令和3年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧』
 - 別添資料『対象機械装置一覧（令和3年3月23日現在：未定稿）』
- ・ 飼養区分ごとに選択できる「導入の必要性」及び「成果目標の種類」「算定根拠」「機械装置の区分」の考え方は3ページを参照して下さい
- ・ 要望書の様式も入力しやすいよう、内容に応じて項目を4つに区分しました
 - Step1：基本情報
 - Step2：導入の必要性・成果目標
 - Step3：要望する機械装置
 - Step4：その他
 - 別添資料『令和3年度要望調査提出データ作成用様式（サンプルデータ入り）』₂

(参考) 要望書様式の「Step2 (導入の必要性・成果目標)」の考え方

→あわせて別添資料『令和3年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧』『令和3年度要望調査提出データ作成用様式』を参照して下さい

※酪農を例に説明します

[ア] 選択肢から該当する「導入の必要性」を選択して下さい（最大3つまで）

- ・「飼養頭羽数の増加による出荷数量の増」
- ・「給餌作業の省力化」

を導入の必要性として決定

[イ] [ア]で選択した「導入の必要性」のうち成果目標の前提となるものを決めて下さい

- ・「飼養頭羽数の増加による出荷数量の増」
を成果目標の前提として決定

[ウ] [イ] で決めた「導入の必要性」に設定された「成果目標の種類」を選択して下さい

- ・「飼養頭羽数の増加による出荷数量の増」を選んだ場合、
成果目標は次の2つから選択できます
①販売額の5%(8%)以上の増加
②農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加
ここでは「販売額の5%(8%)以上の増加」を成果目標として決定 ※導入の必要性によっては成果目標は1種類のみものがあります

[エ] [ウ]の「成果目標の種類」に応じて「算定根拠」が設定されています。「算定根拠」に基づいた「現状値」「目標値」を入力します。

- ・「販売額の5%(8%)以上の増加」を選択した場合、成果目標の「算定根拠」欄に設定されている「出荷数量（生乳）」が当該要望の成果目標となります。
- ・①②③の欄には設定されている以下の情報の現状値・目標を入力します
①1頭あたり年間産乳量（kg/年）
②搾乳牛頭数（頭）
③単価（円/kg）
※別途配布する要望調査提出データ作成用様式（Excel形式）では、選択した「算定根拠」に応じて①②③の欄の単位が自動的に表示されます。

Step3で要望する機械装置の情報を入力します

(補足)

①3ページの説明は、『令和3年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧』の以下の[ア][イ]に沿って説明したものです。

飼養区分	導入の必要性 [ア][イ]	成果目標の種類 [ウ]	成果目標の算定根拠（現状値・目標値）					機械装置の区	
			[エ]算定根拠	現状値・目標値の①の値の単位	現状値・目標値の②の値の単位	現状値・目標値の③の値の単位	現状値・目標値の④の値の単位	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置
酪農	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	4 事故率の低減による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	5 堆肥販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売量（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/t（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出		円		
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	円/年（年間販売額） 円（農業所得・営業利益）			円		
	7 預託頭数の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出		円	○	○
	8 1頭当たり乳量の増加による出荷数量の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	9 乳質改善による販売額の増	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）	円	○	○
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○	
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		円	○	

②『飼養区分』は次のものから該当するものを選択して下さい。

なお、複数にまたがる場合は要望する当該機械装置を主に利用する畜種等を選択して下さい（特に肉用牛は間違いが多いのでご注意下さい）

- ・酪農
- ・肉用牛（肥育）
- ・肉用牛（一貫）
- ・肉用牛（繁殖）
- ・養豚
- ・採卵鶏
- ・ブロイラー
- ・その他家畜（やぎ、めん羊、馬）
- ・その他家畜（合鴨、うずら）
- ・飼料受託等

※令和2年度要望調査までの「飼料生産受託組織等経営高度化支援事業」に相当する要望をされる場合、飼養区分は「飼料受託等」を選択して下さい。

2 スケジュール

※令和3年度要望調査は、要望提出用様式データの配布が6月下旬頃になる見込みですのでご了承ください。

①要望の取りまとめ

- ・ 配布された資料等をもとに、各取組主体の要望の取りまとめを進めて下さい
- ・ 取組主体への要望内容の調査には、「（参考様式）畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）要望調査用紙」を活用して下さい（同様式ではなく、協議会独自の様式で調査頂いても構いません）

②要望提出用データの作成

- ・ 要望調査提出データを作成するための様式（Excel形式）は令和3年6月21日頃に手引等とともに窓口団体経由で配布します
- ・ 手引等を参照し、取りまとめた要望内容を同様式に入力して下さい

③要望提出用データの提出

- ・ 窓口団体が設定した〆切日までに、指定された要望データ等を窓口団体へ提出してください

④配分予定額の通知

- ・ 令和3年9月中旬頃を予定しています

3 貸付対象機械装置について

①補助対象の機械装置については 「一般に市販されているものを対象とし、試験研究のために製造された機械装置については、補助対象としない」とされています（事業実施要領 別紙2 第4の2 抜粋）

②要領別紙2の別表1の補助対象機械装置は、以下の考え方に基づくものとします。このため、機能・性能が、仕様等に例挙される機械装置と同等と判断される機械装置を対象とします。（畜産クラスター関連事業Q&A抜粋）

【補助対象となる機械装置の基本的な考え方】

当該機械装置が単独で導入又は他の補助対象機械装置と一体的に導入されることにより、飼養管理作業、飼料生産・調製作業、家畜ふん尿処理作業の一部を高度化、省力化することで収益性向上に資する機械装置であること（畜舎や堆肥舎及びそれと同等の機能を有する設備等は対象外とします）。

ただし、以下に掲げるものについては、施設と判断されるもの又は畜産経営とは言い難いものへの支援になること等の理由から補助対象にしておりません。

（1）家畜飼養管理施設、家畜排せつ物処理施設及びそれと同等の機能を有する機械・設備及び搾乳用施設設備

例）組立て式簡易型畜舎、密閉型縦型（横型）発酵装置、ユニット式排水処理装置、ミルキングパーラー及びその内部機械装置 等

（2）と畜・食鳥処理に係る設備・機械

例）背割り機、皮はぎ機、脱骨機 等

（3）取組に比較し過大となる食肉加工・乳製品加工装置

例）中心的な経営体が生産する畜産物を利用した6次産業化的な取組を支援しており、その枠を超えるものは対象としません

また、本事業は、畜産クラスターの枠組みで支援を行うものであること及び機械導入事業としての適正性を担保する観点から、

- ・ 都道府県知事が認定した畜産クラスター計画において、行動計画に位置付けられ、取組に直接必要な機械装置であること
- ・ 機械装置の価格が明らかであり、機能や効果について畜産現場で一定の評価を得たものであること
- ・ リース方式の場合は、リース物件として扱えるものとして、リース期間を原則として7年以内で設定できるものであること
が必要です。

なお、単に既存の機械装置の更新ではなく、その機械装置の活用により、生産コストの低減、畜産物の高付加価値化、畜産物等の新規需要の創出及び飼料自給率の向上を通じた収益性の向上が求められることに留意いただく必要があります。

4 要望取りまとめにあたっての注意事項

(1) 機械装置の区分・仕様等で対象となる機械装置について

- ①「堆肥調製散布関係機械装置」としてのホイルローダー、スキッドステアローダー、シャベルローダーは、「切返作業機（堆肥の切り返し用）」として補助対象となっていますが、畜舎の除糞作業用としては補助対象になっておりません
- ②「飼料収穫・調製用機械装置」の「サイレージ等取出・積込機」としてホイルローダーとベールグラブを要望する場合は、ホイルローダーとベールグラブを個別に要望していただく必要があります。その際、必ず双方の機械装置を要望様式の「一体的な要望の有無」欄で指定してください。
※ホイルローダー等をバケットで堆肥切り返し作業用、及びベールグラブを装着して飼料収穫作業用として要望する場合は、ホイルローダーは「堆肥調製散布関係機械装置」、ベールグラブは「飼料収穫・調製機械装置」として要望し、必ず双方の機械装置を要望様式の「一体的な要望の有無」欄で指定してください。
- ③「飼料収穫・調製用機械装置」としてのフォークリフトは、「サイレージ等取出・積込機」としてのみ補助対象です
- ④「飼料調製用機械装置」としてのフォークリフトは、「TMR調製作業用」として要望される場合のみ補助対象です
- ⑤「エコフィード調製・給与関係機械装置」としてのフォークリフト、ホイルローダーは、「エコフィード調製作業用」として要望される場合のみ補助対象です。
- ⑥「飼料給与関係機械装置」としてフォークリフト、ホイルローダー、スキッドステアローダー、シャベルローダー、テレハンドラーは補助対象になっておりません
- ⑦「飼料収穫・調製用機械装置」の「刈取機」について、トラクターの前後に取り付ける機械装置は、個別に要望していただく必要があります（例：バタフライモア及びフロントディスクモア等はそれぞれ要望する必要があります）
- ⑧稲わら収集を主目的として要望される場合の区分は、「飼料収穫・調製用機械装置」ではなく「その他飼料生産関係機械装置」です

(2) その他の注意事項

- ① **×切を過ぎて提出された要望は受け付けられません**
- ② 要望書のStep4にある「成果目標の達成状況」欄の記入方法
 - ・ 過去に機械導入事業を実施した際の成果目標の達成状況を、**協議会が確認の上**、記入（選択）します
 - ・ 当該年度に導入した機械装置の成果目標が達成している場合は「○」を、未達成の場合は「×」を、当該年度に機械装置を導入していない場合は「－」を記入（選択）して下さい
 - ・ **当該年度に複数の機械装置を導入した場合で、1つでも未達成の機械装置があった場合は、「×」を記入（選択）してください**
- ③ その他、以下について精査の上、要望の提出をお願いいたします
 - ・ 事業対象外の機械装置が含まれていないか確認して下さい。
 - ・ 要望書の「機械装置名」は、添付『対象機械装置一覧』の「機械装置名」欄に記載の名称を選択して下さい。
（例）「ジャイロレーキ」を要望する場合は「レーキ」を選択
 - ・ **要望の単位は、添付『対象機械装置一覧』の「機械装置名」ごととして下さい。**
 - ・ 知事の特認が必要な機械装置の要望を出される際は、要望を提出される前に県庁担当課に確認をお願いいたします。
 - ・ **取組主体（転貸の場合は貸付主体も）が事業要件を満たしているか確認して下さい。**
- ④ ルールに沿わない要望書の精査・再確認のため、配分予定額の通知まで時間を要しています。そのため、円滑な事業執行のためにご協力をお願いいたします（※要望提出用データは、要望提出前に記載内容のチェックがかかり、ルールに沿っていない要望は提出できないようになる予定です。